

編集の序

このたび羊土社からのご依頼で「がん診療における精神症状・心理状態・発達障害ハンドブック」の編集を担当いたしました。これは2017年に近畿大学の吉田健史先生が著し、中川和彦先生と私が監修しました『がん治療のための緩和ケアハンドブック』の姉妹書としての位置づけになっております。

現在、臨床現場ではがん患者の精神症状・心理状態・発達障害への対応のニーズがますます高まっています。がん治療医、緩和ケア医、看護師をはじめとする医療スタッフの皆様にサイコオンコロジー（精神腫瘍学）を体系的かつ包括的に実践していただけるような入門書を目指しました。

この領域の第一人者である先生方と次世代を担う若手の先生方を分担執筆者とし、吉田先生にもがん治療医として精神科・心療内科以外の非専門家が読んでも分かりやすい内容になっているかどうかを検証するためのレビューワーとして参加していただきました。

執筆者の皆様には非常にタイトなスケジュールでご無理をお願いしましたが、ちょうど2020年8月に開催される緩和・支持・心のケアの合同学術大会に合わせて発刊することを目指してまいりました。精力的に取り組んでいただいた執筆者の皆様ならびに羊土社編集部の鈴木美奈子様、山村康高様に心から敬意と感謝を申し上げます。本書が、患者さんとそのご家族、医療従事者が1つのチームとなって、がん治療をうまく推進していくための道標となれば幸いです。

2020年8月

近畿大学医学部内科学教室心療内科部門
小山敦子